

# Product Life-Cycle Policy

E220-900T22S(JP) / E220-900T22L(JP) / A660-900T22

Private LoRa/LoRaWAN 通信モジュール製品

## ライフサイクルポリシー

2026年3月16日

### ■免責事項

本ドキュメントは「現状の形」で提供され、商品性、特定目的への適合性、または非侵害の保証、他の場所で参照されている提案、仕様、サンプルの保証など、いかなる種類の保証を提供するものではありません。参照用 URL 等を含めこの資料の内容は予告なしに変更される場合があります。

本ドキュメントで対象としている製品は、高度な安全性や耐久性を要件とする、医療機器や軍事機器、自動車や航空機などの運転装置類など、人命や財産への危害を与える恐れのある機器で使用されることを想定していません。当社では安全性の判断はできませんので、使用するアプリケーションにおける安全性、適合性の判断については、設計者の責任において行ってください。

本ドキュメントの責任の範囲は、発行者によって提供されるサポートの範囲を超えるものではなく、設計者、および、利用者によるこのドキュメントに含まれる情報の使用に起因する事故、法令、法的権利（特許権の侵害を含める）などを保証することはなく、使用方法に関する説明に留まるものとします。知的財産の使用については、明示または黙示を問わず、このドキュメントにおいて付与されるものではありません。別途それぞれの、ライセンス条項や、製品使用許諾契約などによって示されるものを有効とします。

本文書内に記載されているすべての商号、商標、および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。また、本文書の著作権のすべては、株式会社クレアリンクテクノロジーに帰属します。

CLEALINK TECHNOLOGY CO., LTD.

### 本ポリシーの対象製品

- E220-900T22S(JP)
- E220-900T22S(JP) R2
- E220-900T22L(JP)
- A660-900T22

2026年3月16日時点における、製品の供給状況、および、供給予定は以下の通りです。

型番	製造開始年月	製造終了予定 EOP	販売終了見込 EOS	サポート終了日 EOL
E220-900T22S(JP) ※受注製造扱い	2022年7月	予定なし	-	-
E220-900T22S(JP) R2	2024年8月	予定なし	-	-
E220-900T22L(JP)	2024年8月	予定なし	-	-
A660-900T22	2024年8月	予定なし	-	-

いずれの対象製品も、新規設計、量産などへの適用について、「推奨」「可能」です。

各ファームウェアバージョンについては、個々の製品モデル毎に利用への最適なバージョンは異なりますので、個別にご確認ください。

E220-900T22S(JP)とE220-900T22S(JP) R2につきましては、E220-900T22S(JP) R2販売開始後も、継続して製造、販売、保守を継続をいたします。現在、E220-900T22S(JP)をご利用のお客様においても、継続してご使用いただいて問題はありません。

※E220-900T22S(JP)は、在庫がなくなり次第、原則として受注製造扱いとさせていただきます。

リードタイム、MOQについては営業までお問い合わせください。

これらの製品における、製造、販売元である、当社の製品製造、並びに、製品ライフサイクルポリシーは、以下の通りです。

### ポリシーの原則

当社は、これらの各型番製品において、長期的にお客様の視点に立ったライフサイクルポリシーを実施することを原則として方針を決定します。特に、Private LoRa 通信モジュールにおいては、市場での代替製品の供給が期待できないことから、お客様に安心してご使用いただける状態を維持するために、当社は責任を持って長期安定供給が可能なよう配慮した計画を遂行いたします。

### 製造・在庫ポリシー

- 常時、販売予定数量の在庫を確保するように製造調整を行います。想定を超える大口需要などが生じた場合に、一時的に在庫が枯渇する場合があります。
- 製造リードタイムは、30日から60日程度（昨年度実績平均35日程度）を予定しています。ただし、海外の情勢、時期などによって左右される場合があります。受注製造品についても、原則この製造リードタイムが適用されます。
- 関連製品の内、アンテナ類については、常時在庫品、取寄品、取扱品不可品などに分類し、常時在庫品は販売想定数量を常時確保するよう製造調整を行います。

## 製品ライフサイクルポリシー

- 製品を構成する半導体メーカーなどの電子部品の供給停止計画などに伴う EOL を基準とし、それら構成部品の供給が停止することの連絡を受けた時点より、製造終了予定(EOP)、販売終了見込予定(EOS)を速やかに決定、開示します。
- ただし、代替部品による同スペックでの供給が可能な場合は、必要な処置などを講じた上で、継続、互換性を確保した後継型番などを提供する場合があります。
- 製造終了予定(EOP)の設定後、販売見込み数量を想定した十分な在庫確保を行う予定です。実際の販売実績と経過に従って、販売終了見込予定(EOS)が短縮される場合があります。
- 定期的に、供給先であるお客様へのサンプル調査などを行い、需要予測などに努めます。
- 製造終了予定(EOP)を設定する際には、アクティブなお客様へのヒアリングなど状況の把握に努め、円滑な対処、移行処置などのサポート体制の立ち上げを行います。
- 実際には、各構成部品の供給が途絶えた時点をもって、製造終了予定(EOP)が確定するため、流通在庫が確保できる場合は、需要に合わせて製造を継続します。
- サポート終了日(EOL)は、実際の販売終了から3年間とします。ただし、公開済みの情報については、原則として、開示を継続します。ただし、全ての公開済み情報ではなく、最新、最終の情報のみとする場合があります。
- 原則として、サポート終了日(EOL)を持って、サポート窓口でのサポート対応は中止します。
- 資材調達先、製造委託工場などと良好な関係を維持し、製品の安定供給と品質維持に努めます。

ただし、以下に該当する場合などにおいては、上記の方針に関係無く、製品供給の停止、停滞などが生じる可能性があります。また、製品価格の変化が生じる可能性を含みます。

- 国内電波法の改正に伴う無線装置の販売を余儀なく停止する必要が生じた場合
- 当社が契約、委託する製造工場など特定の条件を満たす施設での有事による場合
- 半導体など構成部材の一時的な供給停滞や、不足が生じた場合
- 戦争、テロ、国際情勢の悪化、国際貿易での摩擦など当社が予見することができない事情が生じた場合
- 当社の想定を大きく上回る、為替変動、物価変動、物流コストの変動が生じた場合
- 当社が他社の法的権利の侵害の疑いなどによって、製品の供給の継続が困難となった場合

## ソフトウェア（組み込みファームウェア）サポートポリシー

- E220-900T22S(JP)、E220-900T22S(JP) R2、E220-900T22L(JP)の Private LoRa シリーズにおいては、現在公開されている、全てのファームウェアバージョンのサポートを行います。
- A660-900T22 (LoRaWAN 対応モデル)におきましては、各種事情により、今後のファームウェアのサポート範囲を制限する場合があります。
- ただし、いずれのモデルにおいても、特定バージョンのファームウェアにおける瑕疵などについては、アップデートによる対応を原則とし、当社が提供出来る回避対策などが存在する場合は、それら情報の提供を行います。

以上

## 重要事項

株式会社クレalinkテクノロジーは、このドキュメントのすべての内容の最終的な解釈および変更の権利を留保します。製品のハードウェアとソフトウェアは継続的に改善されているため、このドキュメントは予告なしに変更されることがあります。その場合、本ドキュメントの最新バージョン、および、リビジョンが優先されます。この製品を使用する設計者は、当社の Web サイト等を通じて、製品の動向に注意し、本製品の最新情報をタイムリーに取得してください。

## Important Notice

CLEALINK TECHNOLOGY CO., LTD. reserve the right of final interpretation and modification of all contents of this document. Since the product hardware and software are continually improved, this document may change without notice. In such cases, the latest version and revision of this document shall take precedence. Designers using this product should pay attention to product trends and obtain the latest information on this product in a timely manner through our website, etc.

技術的なサポートについて、そのすべての対応を保証するものではありません。本ドキュメント記載の内容の範囲を大きく超える内容、もしくは、当社、関係各社の機密などに関する内容、科学的なエビデンスや論拠の乏しい偶発的な内容などについては、回答できない場合もあります。また、暗号処理を含む、当社等の技術的開示を秘匿としている内容などにつきましては、お問い合わせいただいた場合でも回答は控えさせていただきます。

## 本アプリケーションオートに関するお問い合わせ先

CLEALINK TECHNOLOGY CO., LTD.

IoT 製品取り扱い・サポート専用サイト「DRAGON TORCH」

製品情報サイト <https://dragon-torch.tech/>

製品サポート <https://support.dragon-torch.tech/>



製品情報サイト



製品サポートサイト

製品開発元 <https://clealink.jp/>

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台 1-7

けいはんなプラザ ラボ棟 7F

株式会社クレalinkテクノロジー IoT コンポーネント担当

CLEALINK TECHNOLOGY CO., LTD.

IoT components team

Keihanna Plaza Labo-wing 7F,

1-7, Hikari-dai, Seika-cho, Souraku-gun, Kyoto, Japan, 6190237